

「糸島市〇〇」と、主となる経営地を記載
地番は必要ありません。

経営開始日と
下にかっこ書きで、根拠を
書いて下さい。

青年等就農計画

就農地	糸島市志摩野北		農業経営開始日	令和7年3月1日 (農機取得日)	
就農形態 (該当する形態にレ印)	■新たに農業経営を開始 □親(三親等以内の親族を含む。以下同じ。)の農業経営とは別に 新たな部門を開始 □親の農業経営を継承 (□全体、□一部 継承する経営での従事期間 年 か月)				
目標とする営農類型 (備考の営農類型の中から選択)	単一経営(露地野菜:ブロッコリー) 下記3つから選択 ・単一経営(主の部門が全体の80%以上) ・複合経営(主が水稻で、水稻が80%以下) ・その他(上記2経営に当てはまらないもの (部門とは、施設野菜や露地野菜等を指す))				
将来の農業 経営の構想	農業技術の向上、機械化、規模拡大や施設管理等によりブロッコリー栽培を効率的に行う。 JA糸島のブロッコリー部会に所属し、全量JAに出荷する。 (年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
量は「kg」・「本」等 面積は「a」表記		現状※収支計画の初年		目標(令和11年)※支出計画の最終年	
	年間農業所得	30千円		3,000千円	
	年間労働時間	1,000時間		2,000時間	
農業経営の規模に関する目標	作目・部門名	現状		目標(令和11年)	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	ブロッコリー	20 a	2,000 kg	250 a	25,000 kg
	経営面積合計	20 a	2,000 kg	250 a	25,000 kg
	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状	目標(令和11年)
	所有地	田	糸島市	—	50a
	借入地	田	糸島市	20 a	200a

※様式第3号の収支計画との整合性を確認

農業経営の規模に関する目標	特定作業受託		作目	作業	現状		目標（ 年）	
					作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作目		作業	現状		目標（ 年）	
単純計								
換算後								
農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業	事業名	内容		現状		目標（ 年）		
	現在所有している農業用機械や施設をまず記入し、その下には経営開始5年間で揃える予定のものを記入する。							
生産方式に関する目標	機械・施設名		型式、性能、規模等及びその台数					
			現状			目標（令和11年）		
	軽トラック		ホンダ 4WD			同左		
	トラクター		クボタ 23馬力			同左		
	定植機		—			クボタパワクロ SKP-100PC		
冷蔵庫		—			2坪 現地組み立てタイプ			
経営管理に関する目標			経理はパソコンを導入し管理を行う。青色申告を実施し経営を行う。市内の農業者研修等は積極的に参加し、知識を蓄え自分の営農に活かす。					
農業従事の態様等に関する目標			最初は難しいかもしれないが、月に4日程度休暇を設ける。また、その場の営農状況に応じて臨時雇用等も視野に入れながら営農する。					
目標を達成するために必要な措置	事業内容（施設の設置・機械の購入等）		規模・構造等	実施時期	事業費	資金名等		
	定植機		クボタパワクロ SKP-100PC	令和9年1月	300千円	青年等就農資金		
	冷蔵庫		2坪 現地組み立てタイプ	令和7年10月	500千円	経営発展支援事業		
生産方式に関する目標で、将来的にそろえる農業用機械等に関して、いつ頃どのような資金を使用して設置するかを記入してください。								

農業経営の構成	氏 名 (法人経営にあつては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)		現 状		見 通 し	
					担当業務	年間農業従事日数 (日)	担当業務	年間農業従事日数 (日)
	糸島 美花	41	本人		全般	200	全般	300
	糸島 市郎	43	夫		収穫ほか	50	全般	300
	糸島 緑	65	母		—	—	収穫ほか	50
雇用者	常時雇 (年間)		実人数	現 状	0 人		見通し	0 人
	臨時雇 (年間)		実人数	現 状	0 人		見通し	2 人
			延べ人数	現 状	0 人		見通し	15 人

○ 農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者及び法人の役員（同号に掲げる者に限る。）が有する知識及び技能に関する事項

	経歴
職務内容	2人×60日÷8H 8時間に換算
勤務機関名	
在職期間	年 月 ～ 年 月
上記の住所	
退職年月日	
資 格 等	
農業経営に活用 できる知識及び 技能の内容	

注：法人の場合は、役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者に限る。）ごとに作成すること。

技術・知識の習得状況	研修先等の名称		所在地	専攻・営農部門
	J A糸島農業研修生		糸島市	いちご
	研修等期間		令和5年4月～令和6年3月	
	研修内容等	・いちご栽培技術及び経営管理全般 ・いちご苗作り ・いちご灌水等管理作業一連 ・出荷・調整作業一連		
	活用した補助金等	就農準備資金		

注：研修カリキュラム等を添付すること。

法 定 役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第1号及び第2号に掲げる者に

研修実績が複数ある場合は、欄を追加し全て記入する

(参考) 他市町村の 認定状況	認定市町村名	認定年月日	備考